molten®
For the real game

For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」
私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに
世界に類のないボールと
スポーツエキップメント・メーカーとして
つねに完璧な製品づくりを目指しています。

日本リーグ唯一の公式試合球
全日本実業団連盟主催大会
唯一の公式試合球

H312 ヌエバ 国際公認球 検定球
縫い・人工皮革、3号球、ラテックスチューブ

H212 ヌエバ 国際公認球 検定球
縫い・人工皮革、2号球、ラテックスチューブ



www.molten.co.jp

株式会社 モルテン 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川五丁目5-7

ロンドンに向けて…
ナショナルトレーニングセンターの活用



JOC専任コーチ・（財）日本ハンドボール協会常務理事　田中　茂

既に、ご存知の皆様も多いかと思いますが、今年（2008年）1月21日よりナショナルトレーニングセンターが利用可能となり、ハンドボールは初日より、既に多くの代表カテゴリーが選手強化のため、このナショナルトレーニングセンターを利用しています。今までにないトレーニング設備、宿泊、食事等で十分な環境は整ってきたと思います。

今回はナショナルトレーニングセンター施設、またナショナルトレーニングセンターJOC専任コーチの役割について報告いたします。

■ナショナルトレーニングセンターについて

1）オリンピックなどの国際競技大会における日本代表選手の活躍は、多くの国民を魅了し、夢と感動を与え、活力ある明るい社会の形成に寄与することになります。

我が国のスポーツ界では、1964年に開催された東京オリンピック大会を契機に、これらのトップレベルアスリートを集中的・長期的に育成・強化するための専用トレーニング施設の必要性を国に要望していましたが、具体的な計画には至りませんでした。

しかし、スポーツ振興基本計画（2000年9月）において、我が国におけるトップレベル競技者の国際競技力の総合的な向上を図るため、ナショナルレベルのトレーニング拠点の整備の必要性が示されていました。

ナショナルトレーニングセンター中核拠点施設は、この計画に基づきトップレベル競技者が同一の活動拠点、集中的・継続的にトレーニング・強化活動を行うための拠点施設です。

ナショナルトレーニングセンター中核拠点施設は各競技の専用練習場を備えた屋内トレーニング施設、陸上競技を中心とした屋外トレーニング施設及び宿泊施設等からなり、隣接するJISS（国立スポーツ科学センター、西が丘サッカー場等）と連携を図ることにより、スポーツ科学・医学・情報を取り入れた効果的なトレーニングを行うことができ、我が国のナショナルレベルのトレーニング施設の中核拠点としての役割を担っています。

今回のナショナルトレーニングセンターの設置は、日本スポーツ界にとって約半世紀に及ぶ悲願が実ったものとなっています。施設自体は今後も拡充していく必要がありますが、我々スポーツ界はこの施設を有効活用し、結果を出す責務を担ったことを認識していかなければなりません。

2）ナショナルトレーニングセンターの活用理念

・各競技における国際競技力向上のためのトレーニングを集中的かつ継続的に行うとともに、隣接するJISS（国立スポーツ科学センター）と連携し、スポーツ情・医・科学を活用した効果的な強化を図る拠点とする。
・一貫指導システムに基づき、競技者の発掘・育成ならびにナショナルレベルの指導者養成を積極的に推進するための拠点とする。
・複合トレーニング施設の機能を十分に活かすため、一競技団体での選手強化の限界を超えるための競技間連携を促進し、「チームジャパン」としての連携を確固たるものとする。

3）ナショナルトレーニングセンター中核拠点、専用施設について

・JISS（国立スポーツ科学センター）：競泳・シンクロナイズドスイミング・新体操・トランポリン・フェンシング・射撃
・屋内トレーニング施設（ナショナルトレーニングセンター）：ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・ハンドボール・ウエイトリフティング・卓球・柔道・バドミントン
・屋外トレーニング施設：陸上（400Mトラック）・テニス・サッカー（西が丘サッカー場）
・宿泊施設：宿泊室（258床）・食堂・大浴場等

■ナショナルトレーニングセンターを活用した強化事業

1）JOCスポーツアカデミー事業

・JOCナショナルコーチアカデミー
【趣旨】オリンピックを始めとする国際競技大会で活躍できる選手の育成・指導ができる我が国を代表する真のエリートコーチ及び我が国の国際競技力向上に関わる各種スタッフの養成を目的とする。
・JOCエリートアカデミー
【趣旨】オリンピックを始めとする国際大会で活躍できる選手を育成する。また、優れた素質を有する競技者の育成のため、ナショナルトレーニングセンター近郊等の教育機関と連携し、競技者への学校教育と世界に通じる競技者としてのスキル教育を行うとともに、将来にわたり日本を代表し社会で活躍する人材として育成するための環境を整備する。
・JOCキャリアアカデミー
【趣旨】トップアスリートの育成・強化を進める上で、競技生活引退後の不安を取り除き、選手活動に専念できる環境整備、アスリート自身が主体的に将来の生活設計に取り組むための環境を提供すると共に、トップアスリートの人的資源の社会還元を促進させる。

■ナショナルトレーニングセンター専任コーチの役割

【役割】
・ナショナルトレーニングセンターを選手強化の中核拠点として位置づけ、オリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会で活躍できる競技者を、各競技団体が進める一貫指導システムに基づき、ナショナルトレーニングセンター専任コーチが育成・強化を推進する。

【ハンドボール専任コーチ】
【業務内容】
・各カテゴリー代表合宿準備、サポート（練習場所確保・宿泊予約・環境整備・備品整備・会計報告等）
・合宿でのコーチングサポート
・強化策立案、実施（NTC ジュニアアカデミー・NTS 活動）
・強化事業発案、事務処理（大会企画・運営協力）
・映像分析、データ管理
・指導、普及事業協力
・競技間連携事業（コーチ間交流・情報交換）
・ナショナルコーチアカデミー事業協力
・国際連絡、連携（海外強化合宿・強化試合・国際大会参加）

■ JHA ジュニアアカデミーについて

ハンドボール専任コーチとして上記業務内容のなかでも、JHA ジュニアアカデミー事業は、ナショナルトレーニングセンターができ、専任コーチとしての、最大の仕事だと考えております。

JHA ジュニアアカデミーにつては、JOC エリートアカデミー事業同様に、ジュニアの選手を特別に強化し、中期、長期計画の下、代表強化を行って行きたいと考えております。

【基本方針】
ハンドボール選手としての個人技能・能力のレベルアップを図り、世界に通じる選手としてのスキル教育を行うとともに、将来にわたり日本を代表し社会で活躍できる人材としての育成を行う。更には、人間形成の支援と競技力向上の両立を図る。また、選手としての強さを身に付けるために、体力トレーニングを重点項目とし、体格を形成する事を行う。

【趣旨】
日本ハンドボールのオリンピック出場、メダル獲得に向けた中期・長期継続強化計画のためのエリート教育。

【対象者】
個人能力に優れた選手、または将来日本代表として活躍出来る素質、資質を持った選手。かつ、本事業の趣旨や方針を理解し、日本ハンドボール協会が認めた選手。

【活動期間】
・年　6回計画　1回（1週間・4日間のプログラム）平成20年度
・実施スケジュール別紙参照（平成20年度）
・年10回計画　1回（1週間・4日間のプログラム）平成21年度より実施

【活動場所】
・NTC ナショナルトレーニングセンター

【指導者】
・実技指導　田中　茂（NTC 専任コーチ）
Nemes Roland（JOC ジュニアコーチ）
市来　未央（JOC ジュニアコーチ）
日本ハンドボール協会ﾅｼｮﾅﾙｽﾀｯﾌﾁｰﾑ
・教育指導　JOC アカデミースタッフ、その他外部指導者

【プログラム】
・実技
  ・個人の能力、技術アップメニュー
  ・身体作り（ウェートトレーニング・長短距離走・水泳トレーニング）
  ・体力、形態測定
・知的プログラム・人間教育プログラム
  ・オープンマインド…心を開き、素直にかつ相手を配慮した言動、行動、物事に取り組む姿勢を養う。
  ・コミュニケーションスキル（専門指導）…話す、聞くなどわかりやすく相手とコミュニケーションできる能力を養う。
  ・ロジカルシンキング（専門指導）…論理的な思考や深くスピーディにわかりやすく伝える能力を養う。併せて意思決定に必要な体系的な考え方を養う。
  ・IT リタラシー（専門指導）…IT に係る知識、能力を養う。
  ・コンセプチュアルスキル（専門指導）…問題解決、提案、分析能力を養う。
  ・語学学習（Nemes Roland　指導）…英会話実習。
  ・メディア対策（専門指導）…新聞記者、TV インタビュアーから対応の仕方を学ぶ。
  ・講話学習（専門指導）…様々な人とのコミュニケーションを通して考え方や物事に対する取り組み、リーダーシップ、国際感覚、礼儀を学ぶ。
  ・キャリアサポート（専門指導）…ファーストキャリアにおいてキャリアトランジット対応の為の啓蒙を行う。
・体力プログラム・健康管理プログラム
  ・フィットネス（専門指導）…体力向上の為の基礎知識、方法論を学び正しい姿勢での実技実習を行う。
  各種体力向上プログラム（個人能力測定）を作成し定期的な測定による、意識の向上、自ら体力の向上に取り組む姿勢を養う。
  ・食事と栄養（専門指導）…バランスの取れた食習慣を身に付ける。毎日の食事のアドバイス・チェック、相談できる体制を整え、食事と栄養の大切さを学習し自ら食育に対しての意識を養う。

ナショナルトレーニングセンターが完成し、また、ハンドボール界でも若い選手の育成、強化が代表チームでの課題ともなっています。日本代表として悲願のオリンピック出場に向け、日々努力して行きたいと考えております。皆様のご理解、ご協力をお願いできればと思います。多くのハンドボール指導者、選手、関係者の力を結集し、ロンドンオリンピックに向け頑張っていきましょう。

2008北京オリンピック 世界最終予選 総括





2点とも　写真提供・スポーツイベント社

男　子

（財）日本ハンドボール協会・強化本部長　蒲生 晴明

多くのハンドボール関係者ならびにファンの方々のご支援をいただきましたが、2008北京オリンピック出場権獲得は叶いませんでした。強化責任者として、大変申し訳なくお詫び申し上げます。全ての予選が終了しましたので、総括を以下に報告します。

1．開催期間

2008年5月30日～6月1日

2．開催国・開催都市

クロアチア：ザダル

3．出場国

世界最終予選第3グループ：出場4カ国

■クロアチア（WC5位、2004オリンピック金メダル）
■ロシア（WC6位、2004オリンピック銅メダル）
■日　本（アジア大陸代表：アジア予選2位）
■アルジェリア（アフリカ代表：アフリカ予選3位）
（フランスで4カ国、ポーランドで4カ国、クロアチアで4カ国、合計12カ国）

4．事前の強化

1月の北京オリンピックアジア予選再試合後に、最終予



選に向けてメンバーの補強ならびに「フィジカル強化・総力とスタミナ強化」のためナショナルトレーニングセンターを利用して、徹底的に実施してきた。5月上旬の日韓戦で試した結果、若手の成長が著しく顕著であったことから、チーム編成を見直した。最終予選前には、ドイツブンデスリーグ2部との親善試合3試合3勝。ハンガリー代表と親善試合（JPN ● 34 － 35 ○ HUN）をして手応えを感じたところであった。

5．試合結果

・第3グループは、世界の強豪クロアチアとロシアそしてアルジェリアに対して、出場権獲得には最低2勝が必要であった。

・**第1戦 vs クロアチア　JPN ● 22-37 ○ CRO**

前半スタートして機動力を生かして6－5と逆転した。その後、シュートミス・テクニックミスなどが発生、また日本はクロアチアの大きさを利用したポストを守れず連続失点し6－11とされ主導権を握られてしまった。その後、工夫をするものの挽回できなかった。

・**第2戦 vs アルジェリア　JPN ○ 38-27 ● ALG**

日本の3－2－1DFが機能し相手のテクニックミスを発生させ途中から速攻が決まり、前半20－14とリード。後半GKの好セーブとDFが功を奏して、連続速攻で一気に突き放し快勝であった。何と言っても、GKのファインセーブがチームを何度も救った。

・**第3戦 vs ロシア　JPN ● 31-44 ○ RUS**

王手をかけた最終戦ロシアには、日本はスタートからアグレッシブなDFから守り切り速攻が出て、5－5と互角の戦いであったが、日本のテクニックミスから連続失点し6－11と離され、そのまま前半終了。後半スタートはロシア退場の場面で得点をとり点差を詰めたいところであったが、ライン際での大型ポストを狙われ逆に失点で引き離された。

6．総評

2007年12月17日の国際ハンドボール連盟の北京オリンピックアジア予選再戦決定を受けて、急遽、酒巻氏に日本代表監督に就任していただき、短期間の強化であったが、狙いとする「フィジカル強化と走力スタミナ強化」は、顕著な成果となった。これは、専門のストレングスコーチに、筋力アップのみならずスピードを落とさない工夫と1時間継続して動かすことができるスタミナ養成を綿密に計画して実施してきた結果であった。

しかしながら、基本的なテクニックミスが重要な場面で発生していて、従来から大きな要因となっている。この課題は永遠のテーマであって、日本代表チームの強化だけでなく、普段の所属チームでのトレーニングや試合での強化が必要であり、テクニックミス削





写真提供・スポーツイベント社

減策として、厳しい条件でトレーニングをしていくことで補うようにしてきた。さらに、徹底した激しい攻防とフィジカルトレーニングによって、極限下でのパフォーマンスの精度アップを狙うことによって補って行く工夫が、功を奏していける感触をもてた。

一方、一貫指導システム（NTS）で発掘育成してきた新しい世代の台頭があって、ベテラン選手を押しのけて代表入りをした結果、今までになかった光景が部分的にみられた。基本的な戦術技術の精度向上、さらに体力を鍛え上げて、ロンドンオリンピックに挑戦しなければならない。

そう言った意味で、NTS で発掘された選手を under チームで育成していく中で、若い世代から基本的な技術戦術・体力ならびにスタミナ強化を徹底していく事と、ナショナルトレーニングセンターでのジュニアアカデミーにおいて、日本を代表するエリート教育を継続的に実施することに尽きると考えられる。





写真提供・スポーツイベント社

7．試合の運営など

- クロアチアは、世界チャンピオンに何度もなっているだけあって、運営は抜群であった。
- 観客は試合と一体になって、怒号が鳴るほどの応援であった。
- オリンピック予選ということで、過去３回のオリンピックチャンピオン時の選手を招待して、vs ロシア戦の選手紹介前に、コート中央で一人ひとり紹介していた。観客は熱狂的に声援を送り、その偉業に対して敬意を称していた。この件では、試合開始遅延のために、1000 スイスフランの罰金となったけれども、大変感動的なシーンであった。



写真提供・スポーツイベント社

- メディア対応についても、大変広いスペースで軽食やドリンクなどがスポンサーから提供されていて完璧であった。
- 運営する役員セキュリティーなど手馴れた対応には感心させられた。また、観客のマナーも大変良かった。
- 日本のメディアがクロアチアまで大勢駆けつけて、ハンドボールの取材をしていただいたことには大変感謝するところである。また、日本からの応援者が PRESS 席に簡単に入っていたことには嬉しさの反面、驚きが入り混じった。
- 移動は、常にバイクとパトカー先導で時間どおり運行していた。

8．まとめ

日本代表チームの強化は永遠に続いていきます。世界のどの国も力の差を詰めるために色々な施策を実行に移して努力しております。日本は遅れを取り戻すことと先に行くための新たな施策を皆さんと共に実行に移して行かなければ、現状を打破できません。どうか関係各位のご理解とご支援ご協力を戴けますように、よろしくお願いいたします。

終わりになりましたが、国内強化合宿・海外遠征などご苦労戴きました役員選手ならびにご支援を戴きました所属の関係の皆様方に御礼申し上げるとともに、応援して戴きました全国のハンドボールファンならびに関係の皆様に深く感謝申し上げます。

女 子

（財）日本ハンドボール協会・女子強化部長　西窪 勝広

オリンピック再試合後世界最終予選に向け、ベルト監督と話し合い、再度選手の見直しと時間をかけた強化で臨む方針を打ちたて、オランダでの事前強化合宿を実施し、大会に備えた。

しかし、スポーツ仲裁裁判所の裁定で女子のオリンピック再試合が無効となり、急遽組み合わせ変更でフランス、ニームからルーマニア、ブカレストに開催国も変更になり、戸惑いを感じての大会突入であった。

対戦国もルーマニア（WC4 位）、ハンガリー（WC8 位）、ポーランド（WC11 位）とヨーロッパの強豪国で短時間での分析のやり直しを余儀なくされた。

今大会は３グループに分け、各グループ上位２カ国がオリンピック出場権を得るリーグ戦方式で行われた。

第２グループ上位２位以内で北京オリンピック出場権の獲得を目標に掲げ今大会に臨んだ

日本　平均身長 168 ㎝　体重 63kg　年齢 27 歳



写真提供・スポーツイベント社

■初戦のルーマニアは 2007 年世界選手権４位

日本　21 － 44　ルーマニア

平均身長 178 ㎝　体重 69 kg　年齢 25 歳

ルーマニアは体格的、ハンドボールのレベルも格上であったが、オリンピックの切符を得るためには避けては通れない試合である。

試合開始後、素晴らしい立ち上がりで前半 15 分４点リードでリズムを掴んでの展開であったが、温存していたルーマニアが両エースを投入しリズムを取り戻し、厳しい内容で試合が終了した。

■オリンピック突破の重要な２戦目ポーランド戦…2007 年世界選手権 11 位

日本　29 － 27　ポーランド

平均身長 178 ㎝　体重 70 kg　年齢 26 歳

ベルト監督が３年間作り上げてきたハンドボールが機能したパーフェクトの試合内容であった。

GK の再三の好守で選手がリズムを掴み、左右の揺さぶり、クロスを交えた攻撃で相手 DF を崩しての得点、体格的な不利を果敢に攻撃的な DF でアタックし、常に相手より有利な展開を実践させ勝利に導いたスタッフの手腕と選手の闘争心が全て表現できた内容であった。

２日目でルーマニアがオリンピック出場権獲得。

■最終戦のハンガリー戦…2007 年世界選手権８位

日本　29 － 39　ハンガリー

平均身長 176 ㎝　体重 69 kg　年齢 28 歳

残り１枚の切符を賭け同率のハンガリーとの戦い。

前半 14 分まで一進一退の攻防が繰り返されるが、自力に勝るハンガリーが格の違いを見せ始め、６点差で前半終了。

後半、巻き返しを狙っての開始で



写真提供・スポーツイベント社





写真提供・スポーツイベント社

あったが、後半10分より空白の時間が続き、得点差が開き、10点差で終了。

ベルト監督のヨーロッパを知り尽くした戦術、藤本コーチの厳しいディフェンスの指導が調和し、クレバーな采配と木目細かい分析で日本選手をコントロールしたスタッフの力量は大いに評価できる内容であった。

また、選手のケアーに日々勤めて頂いた佐久間、倉田両氏、深夜まで分析に取り組んで頂いた小笠原氏には心からお礼申し上げたい。

世界選手権、再予選の試合の反省課題としてあげられた、ボールへの執着心、綺麗事ではなく華麗なプレーの中にも泥臭さが加味されなければ激戦は戦い抜くことは出来ないとの課題を良く改善したスタッフは評価したい。

特に藤本コーチがディフェス面で体格差を補う果敢なアタックDFの強化に努めたことが今回の戦績に繋がった事は間違いない。

ベルト監督の下３年間の強化でオリンピックの切符を獲得できなかった結果は真摯に受け止め反省しなければならないし、チームの総監督としての責任を痛感している。

日本選手のスピード、テクニックは各国と比較しても絶対に劣っているとは感じない。

世界、アジアで戦い抜く大型選手の発掘が課題である事は充分認識しているが、今回の最終予選でベルト監督、藤本コーチ、選手が表現してくれた内容は今後の戦い方の明るい課題を残してくれた。

ルーマニア、ブカレストの運営に関して派手さは無いものの毎試合集客数が多く、特にルーマニア対ハンガリー戦は素晴らしい運営であった。

毎試合TV放映があり会場がルーマニア一色に染まる雰囲気から、ルーマニアでのハンドボールの人気度を痛感した。

テクニカルミーティングはIHFのコズコフ氏が全ており仕切り、エントリーが14名であるとの事で日本の得ていた情報が確実ではなく、チームに戸惑いを与えことに協会としての徹底を図っていくことを痛感した。

ドーピングに関しても日本も厳しくルール化されてきているが、当然のごとくドーピングの違法性を訴える担当者の話しを聞き日本の認識遅れと選手への指導のあり方を再確認した。

この大会でのオリンピックの出場権は獲得できなかったが、全ての試合内容、各国の戦術を細かく分析し課題を明確にして、日本ハンドボール協会全体の課題として取り組み今後の強化に努めたい。

終わりになりましたが、国内合宿、海外遠征等にご支援いただいた役員、選手の所属の関係各位に心よりお礼を申し上げます。

また、応援いただいた全国のハンドボール愛好家並びに関係者の皆様に深く御礼申し上げご報告といたします。



写真提供・スポーツイベント社

「北京オリンピックに臨んで」

(財) 日本ハンドボール協会副会長　市原 則之

北京オリンピックの開幕に当たって、日本選手団・副団長として参加されます（財）日本ハンドボール協会副会長の市原則之様より抱負を戴きました。

いよいよ北京オリンピックが開幕します。

私は、アトランタオリンピックから日本選手団の役員としてオリンピックに参加していますが、今回は日本選手団の副団長を拝命しました。北京で日本選手諸君が持てる力を充分発揮して悔いのない戦いができるようサポートしてくるつもりです。

ハンドボールは昨年来「中東の笛」問題が吹き荒れましたが、結果的に男女ともに出場権を獲得できませんでした。ハンドボール関係者としてはとても悔しい思いでいっぱいです。しかし、次回のロンドンオリンピックは是非とも男女揃って出場を果たし、メダル獲得を目指していただきたいと思います。夢は叶えるためにあります。目標に向けてハンドボール界が一丸となって夢を実現させましょう。



2008 北京オリンピック・ハンドボール出場国（男女各 12 カ国）

●男　子

予選A組：中国・ポーランド・ブラジル・フランス・クロアチア・スペイン

予選B組：ドイツ・デンマーク・エジプト・韓国・アイスランド・ロシア

●女　子

予選A組：中国・ノルウェー・ルーマニア・カザフスタン・フランス・アンゴラ

予選B組：ブラジル・ドイツ・スウェーデン・ハンガリー・韓国・ロシア

2008 年 8 月 9 日～8 月 24 日（16 日間）

原点からスタートする勇気

元男子ナショナルチームコーチ／（財）大阪体育協会常務理事　東　嘉伸

北京オリンピックへの道が断たれて久しい。他競技が出場権を決めていくたびに複雑な思いが走った。

〝中東の笛〟に毅然と立ち向かいアジアをそして世界を動かし、多くのスポーツ関係者をハンドボールに注目させた日本協会の英断と努力にあらためて敬意を表しつつも、オリンピック出場権とセットできなかったことは悔やまれてならない。せっかく実現したやり直しのアジア代表決定戦も宿敵韓国を越えることができなかった。

片や日本の力を利用しオリンピック出場を企み出場権を見事なまでに獲得した韓国の強かさは残念ながら一枚も二枚も上だった。

日本選手の戦いぶりは電波を通じ広く日本中に発信され日頃のハンドボール愛好者以外の多くの人達が観戦、応援もしてくれた。宮崎選手をはじめ選手全員に特別功労賞を是非贈っていただきたい。

さて北京五輪が近づくなか「世界を奪い返す」シリーズの原稿依頼をいただいた。今更という気持ちが強かったのに何故か承諾してしまった。まだ少し熱い血が残っていたのかとそんな自分に驚いている。

男子が20年、女子が32年オリンピックへの出場が遠のいている。この現実から逃げることはできない。勝ち負けが結果的にも最重要視される競技団体の存在において、また、日本ハンドボールの明日を築くためにも責任の所在を示さなければならないだろう。協会が、強化部が懸命に努力を重ねて来られたことを承知の上で申し上げる。

現代社会の欠陥のひとつに〝責任体制の欠如〟が各方面で見られる。地方協会においても同じことがいえる。日本協会の姿勢が、地方協会・各連盟に強い指導力を持つためにも厳しく自らを律し対処されるべきと思う。

日本協会の組織の中に、このような重大な事、また方向を決める会議に全国評議員会議が存在している。これは各連盟・47都道府県の代表者から成るもので、問題がなく順風満帆の折は懇親会・伝達会・情報交換会でなんら問題はないが、このような時こそ定例会議に止まらず議論を尽くしていただきたいと思う。

〝世界を奪い返す〟のスタートラインは、まず韓国、中国には負けるわけにはいかない!!ということであり、アジアに於ける歴史からいっても「情報の分析」「戦いの方程式」がはっきりとできていて不思議ではないし、指導陣の闘争心が改めて問い直されているところだろう。

痛恨のオリンピック予選が終わった今、心の底にひっかかることが大きく二つある。一つは、2年前・名古屋での総合選手権大会の折に元日本代表選手、監督、コーチに大集合がかかり、現役代表チームの応援団をスタートさせたはずだったが、いつの間にか失速、その後の連絡もいただけなかったことは誠に残念であったし、現役選手達に申し訳なく思っている。

今一つは、昨年の秋田国体のことだが、大阪府がハンドボール競技での天皇杯をいただいたことである。地元的には嬉しいニュースだったが、特別な強化対策をしていなかったという大阪が10年前のなみはや国体以来の天皇杯を獲得したことは日本全体を考えるとき、喜べることなのだろうか。全域におけるハンドボール競技の低迷に繋がらなければと憂うものである。

都道府県より一歩進めて郡、市連盟の育成が話題になってかなりの時が流れている。総合型地域スポーツクラブの育成が日本中に叫ばれているし、競技の特長、走・跳・投を駆使するハンドボールはその主役になれる要素を持っている。ハンドボールが〝世界を奪い返す〟ためにも原点からスタートする勇気を持って欲しいと願う。



第33回 日本ハンドボールリーグ日程

週	月日	開催地都道府県	会場	男子		女子	
				時間	組合せ	時間	組合せ
1	9月6日（土）	神奈川県	横浜文化体育館	16:00	大同特殊鋼 vs トヨタ車体	14:00	オムロン vs メイプルレッズ
		沖縄県	浦添市民体育館	14:40	琉球コラソン vs トヨタ自動車	13:00	ソニー vs 北國銀行
	9月7日（日）	北海道	北海道立総合体育センター「きたえーる」	11:00	北陸電力 vs 豊田合成		
				13:00	大崎電気 vs 湧永製薬		
		三重県	鈴鹿市立体育館	15:00	Honda vs トヨタ紡織九州	13:00	三重 vs HC名古屋
2	9月13日（土）	埼玉県	和光市総合体育館	14:00	大崎電気 vs 琉球コラソン		
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs 北國銀行
		佐賀県	神埼中央公園体育館	14:00	トヨタ紡織九州 vs 大同特殊鋼		
	9月14日（日）	愛知県	ウィングアリーナ刈谷	13:00	豊田合成 vs Honda		
				15:00	トヨタ車体 vs トヨタ自動車		
		広島県	湧永満之記念体育館	14:00	湧永製薬 vs 北陸電力		
		熊本県	熊本県立総合体育館			14:00	オムロン vs HC名古屋
	9月15日（月）	岐阜県	岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム			14:00	三重 vs ソニー
3	9月21日（日）	石川県	小松総合体育館			13:00	北國銀行 vs 三重
		奈良県	生駒市市民体育館	15:00	大崎電気 vs トヨタ自動車	13:00	ソニー vs オムロン
		香川県	高松市香川総合体育館	14:00	豊田合成 vs 湧永製薬	12:00	メイプルレッズ vs HC名古屋
		徳島県	徳島市立体育館	11:00	大同特殊鋼 vs 北陸電力		
				12:40	Honda vs トヨタ車体		
		佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	14:00	トヨタ紡織九州 vs 琉球コラソン		
4	9月27日（土）	富山県	氷見市ふれあいスポーツセンター	14:00	トヨタ自動車 vs 大同特殊鋼		
				16:00	湧永製薬 vs トヨタ車体		
		福井県	福井県営体育館	13:00	北陸電力 vs 大崎電気		
		鹿児島県	霧島市国分体育館			14:00	ソニー vs HC名古屋
	9月28日（日）	三重県	鈴鹿市立体育館	13:00	Honda vs 琉球コラソン	15:00	三重 vs メイプルレッズ
		福岡県	福岡市民体育館	16:00	トヨタ紡織九州 vs 豊田合成	14:00	北國銀行 vs オムロン
5	10月11日（土）	愛知県	中村スポーツセンター	15:00	大同特殊鋼 vs 大崎電気	13:00	HC名古屋 vs 北國銀行
			稲沢市総合体育館	13:00	トヨタ車体 vs 琉球コラソン		
				15:00	豊田合成 vs トヨタ自動車		
		三重県	三重県営鈴鹿スポーツガーデン体育館	14:00	Honda vs 湧永製薬		
		佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	トヨタ紡織九州 vs 北陸電力	13:00	メイプルレッズ vs ソニー
		熊本県	山鹿市総合体育館			14:00	オムロン vs 三重
6	10月18日（土）	千葉県	市川市塩浜市民体育館	14:00	大崎電気 vs トヨタ紡織九州		
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs オムロン
	10月19日（日）	石川県	小松総合体育館			16:00	北國銀行 vs ソニー
		愛知県	ブラザー工業体育館	15:00	トヨタ自動車 vs 北陸電力	13:00	HC名古屋 vs 三重
				17:00	豊田合成 vs トヨタ車体		
		三重県	四日市市中央緑地体育館	14:00	Honda vs 大同特殊鋼		
		広島県	湧永満之記念体育館	14:00	湧永製薬 vs 琉球コラソン		
7	10月25日（土）	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs Honda		
		愛知県	知立市福祉体育館	13:00	豊田合成 vs 琉球コラソン		
				15:00	トヨタ車体 vs 大崎電気		
			ブラザー工業体育館	15:00	トヨタ自動車 vs トヨタ紡織九州	13:00	HC名古屋 vs オムロン
	10月26日（日）	石川県	小松総合体育館			13:00	北國銀行 vs メイプルレッズ
		長崎県	シーハット大村	14:00	湧永製薬 vs 大同特殊鋼	12:00	ソニー vs 三重
8	11月1日（土）	愛知県	大同工業大学石井記念体育館	13:00	琉球コラソン vs 北陸電力		
				15:00	豊田合成 vs 大同特殊鋼		
			ウィングアリーナ刈谷	11:00	トヨタ自動車 vs 湧永製薬		
				13:00	大崎電気 vs Honda		
				15:00	トヨタ車体 vs トヨタ紡織九州		
		三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs 北國銀行
		熊本県	山鹿市総合体育館			13:00	オムロン vs ソニー
	11月2日（日）	愛知県	中村スポーツセンター	11:00	トヨタ紡織九州 vs 湧永製薬	13:00	HC名古屋 vs メイプルレッズ
				15:00	大同特殊鋼 vs 琉球コラソン		
			ウィングアリーナ刈谷	11:00	Honda vs トヨタ自動車		
				13:15	大崎電気 vs 豊田合成		
				15:30	トヨタ車体 vs 北陸電力		

9	11月8日(土)	愛知県	三好公園総合体育館アリーナ	15:00	トヨタ自動車 vs 琉球コラソン	13:00	ＨＣ名古屋 vs ソニー
		広島県	東区スポーツセンター	13:00	湧永製薬 vs 大崎電気	15:00	メイプルレッズ vs 三重
		佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	14:00	トヨタ紡織九州 vs Honda		
		熊本県	山鹿市鹿央公民館			16:00	オムロン vs 北國銀行
	11月9日(日)	長野県	千曲市戸倉体育館	12:00	豊田合成 vs 北陸電力		
				14:00	トヨタ車体 vs 大同特殊鋼		
10	11月15日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	16:00	北陸電力 vs 湧永製薬		
		三重県	鈴鹿市立体育館	14:00	Honda vs 豊田合成		
		沖縄県	浦添市民体育館	15:30	琉球コラソン vs 大崎電気		
	11月16日(日)	愛知県	東海市民体育館	13:00	トヨタ自動車 vs トヨタ車体		
				15:00	大同特殊鋼 vs トヨタ紡織九州		
11	11月23日(日)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 大同特殊鋼		
		高知県	高知県民体育館	13:00	琉球コラソン vs トヨタ紡織九州		
				14:40	湧永製薬 vs 豊田合成		
	11月23日(日)	大分県	別府市総合体育館（べっぷアリーナ）	13:00	トヨタ自動車 vs 大崎電気		
				14:40	トヨタ車体 vs Honda		
12	11月29日(土)	埼玉県	和光市総合体育館	14:00	大崎電気 vs 北陸電力		
		山梨県	甲州市塩山体育館	14:00	大同特殊鋼 vs トヨタ自動車		
		愛知県	知立市福祉体育館	14:00	トヨタ車体 vs 湧永製薬		
			稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs トヨタ紡織九州		
13	12月6日(土)	山形県	山形市総合スポーツセンター	13:00	トヨタ車体 vs 豊田合成		
				15:00	大同特殊鋼 vs Honda		
		福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs トヨタ自動車		
		佐賀県	神埼中央公園体育館	14:00	トヨタ紡織九州 vs 大崎電気		
		沖縄県	浦添市民体育館	14:00	琉球コラソン vs 湧永製薬		
14	1月24日(土)	石川県	金沢市総合体育館			13:00	北國銀行 vs ＨＣ名古屋
		広島県	中区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs ソニー
		熊本県	熊本県立天草工業高校体育館			15:00	オムロン vs 三重
15	1月31日(土)	熊本県	宇城市松橋総合体育文化センター			15:00	オムロン vs メイプルレッズ
		鹿児島県	霧島市国分体育館			13:00	ソニー vs 北國銀行
		沖縄県	沖縄県立武道館	15:30	琉球コラソン vs Honda		
	2月1日（日）	愛知県	ブラザー工業体育館	15:00	トヨタ自動車 vs 豊田合成	13:00	ＨＣ名古屋 vs 三重
16	2月7日（土）	千葉県	浦安市運動公園総合体育館	15:00	大崎電気 vs 大同特殊鋼	13:00	三重 vs ソニー
		福井県	福井県営体育館	15:00	北陸電力 vs トヨタ紡織九州	13:00	北國銀行 vs メイプルレッズ
		京都府	京都市体育館	15:00	湧永製薬 vs Honda	13:00	オムロン vs ＨＣ名古屋
		沖縄県	沖縄県総合運動公園体育館	15:30	琉球コラソン vs トヨタ車体		
17	2月14日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 琉球コラソン		
		愛知県	枇杷島スポーツセンター	13:00	大同特殊鋼 vs 豊田合成		
		広島県	東区スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs トヨタ自動車	13:00	メイプルレッズ vs ＨＣ名古屋
	2月15日(日)	三重県	名張市総合体育館	15:00	Honda vs 大崎電気	13:00	三重 vs 北國銀行
		宮崎県	小林市市民体育館	16:00	トヨタ紡織九州 vs トヨタ車体	13:00	ソニー vs オムロン
18	2月21日(土)	石川県	金沢市総合体育館			13:00	北國銀行 vs オムロン
		愛知県	稲沢市総合体育館	12:00	トヨタ自動車 vs Honda	14:00	ＨＣ名古屋 vs ソニー
				16:00	豊田合成 vs 大崎電気		
		広島県	東区スポーツセンター	14:00	湧永製薬 vs トヨタ紡織九州		
		沖縄県	沖縄県立武道館	15:30	琉球コラソン vs 大同特殊鋼		
	2月22日(日)	愛媛県	松山市総合コミュニティセンター体育館	13:30	北陸電力 vs トヨタ車体	11:50	三重 vs メイプルレッズ
19	2月28日(土)	岩手県	岩手県営体育館	15:00	大崎電気 vs トヨタ車体	13:00	ＨＣ名古屋 vs 北國銀行
		愛知県	枇杷島スポーツセンター	13:00	大同特殊鋼 vs 湧永製薬		
		三重県	鈴鹿市立体育館	13:00	Honda vs 北陸電力	15:00	三重 vs オムロン
		沖縄県	沖縄県立武道館	15:30	琉球コラソン vs 豊田合成		
	3月1日（日）	佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	14:00	トヨタ紡織九州 vs トヨタ自動車		
		鹿児島県	霧島市国分体育館			14:00	ソニー vs メイプルレッズ

プレーオフ	3月14日(土)	東京都	駒沢体育館		女子準決勝（レギュラーシーズン2位　vs　レギュラーシーズン3位）
					男子準決勝（レギュラーシーズン1位　vs　レギュラーシーズン4位）
					男子準決勝（レギュラーシーズン2位　vs　レギュラーシーズン3位）
	3月15日(日)	東京都	駒沢体育館		女子決勝
					男子決勝

呼吸する建築







Swindow●スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。



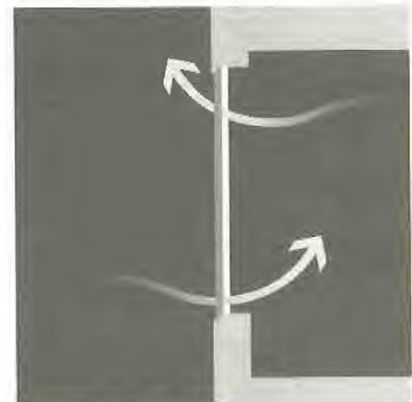




Wincon●ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。







Cavcon●キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

～ロンドンへ「走れ」～

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw フリースロー

「ロンドンをもう見据えているのだろう」ー。日本代表の酒巻監督にある先輩が冗談めかして、こう語りかけた。ロンドンとは、言うまでもなく北京大会後のオリンピックである。酒巻監督は「そんな…」と笑い飛ばしたが、胸中にあるのは、間違いなく「一刻も早く強化へ踏み出したい」思いである。

世界の流れは早い。それに乗り遅れないことは重要である。一方、先の世界最終予選でも露呈したように、質を高めていくことが欠かせない。日常的に激戦を体験することは、少しでも距離を縮めることにもなるはずだ。

世界最終予選で某選手が相手のフィジカルの強さに舌を巻いたという。確かに欧州勢のフィジカルはすごい。でも、そこを抜きにしては日本が前進する希望は持てない。フィジカルを強化しなければ、特徴であるスピードを生きてこないのは明白だ。

財政的な問題もあろうが、欧州勢と対決を繰り返しこなすことは、強化への第１歩となるはずだ。個々が身体で覚え、身体に浸み込ませることではないだろうか。

トップの強化とともに大切なのが、各カテゴリーの強化である。７月には世界学生選手権や世界女子ユース選手権、世界女子ジュニア選手権が開催された。こうした機会をどう生かすかも、次世代へつなぐ重要な課題であることは間違いない。

早い段階から世界の厳しさを身を持って体験させることは、彼ら、彼女らには貴重な財産だ。プレーはもとより、将来ビジョンなどを、そうした機会をとらえて学ばせることも出来るし、それらが一体となって日本を背負って立つ有能な選手に成長していくのではなかろうか。

そうすることによって、ユース、ジュニア体制がよりいっそう確立され、さらには日本リーグの拡充・発展につながっていくのではないかと思う。

ロンドンはまだ先の話ではない。

少しの猶予も許されないほど、時間は切迫していると言わざるを得ない。世界の情報収集合戦はいまや常識だ。また、指導体制や各国、クラブとの友好関係樹立も強化を進める上では欠かせない一面だろう。日本協会首脳の欧州歴訪も一つの手段ではないか。友好関係樹立で情報が瞬時に伝わる手立てができればこの上ない。ロンドンへの道は短期決戦であることだけは間違いない。

ハンドボールのプレーの評価についての提案

平岡秀雄、花岡美智子、栗山雅倫、田村修治（東海大学）、水上　一（筑波大学）

キーワード：ハンドボール、戦術的認知能力、評価

Ⅰ　研究の背景

選手が適切にプレーを実践しようとするとき、まず選手の位置や動きなどの「状況の認知」を行い、その状況から適切なプレーを「判断」し、「行動」する。

競技力の向上を目指す指導は、選手が適切な行動を取れないとき、その原因が状況認知能力・判断能力・行動力のいずれの不足かを明らかにする必要がある。なぜなら、指導者は明確な練習意図をもって対処する必要があるからである。

過去において、ハンドボールの攻防場面で、攻撃の展開を先取りさせる実験を行った際、6対6の攻防場面の途中で画像を消失（マスキング）させる研究手法を用いたことがある。このとき、競技力の高い被験者の回答が、競技力の低い被験者に比べ、高い正解率を示した。

そこで本研究は、ハンドボールの戦術的状況を認識する能力や攻防の展開を先取りする能力が、運動発揮能力を構成する要素であることを明らかにした。この画像をマスキングする方法により、広範な戦術能力を検証できる手法として提案出来ると考えた。

Ⅱ　研究方法

被験者は大学1部チーム23名とし、競技力に応じ3グループに分けた。ハンドボールの攻防場面をVTRで撮影し、シュート場面をキャプチャした。次にシュートに至る直前の場面で画像が見えなくなるように編集し、その最終場面の選手やボールの位置、攻撃すべき空間、攻撃が展開すると思われる先取り図を記述させた。

そして、分析項目別の評価基準に従い記述内容を評価し数値化して、戦術的認知能力及び先取り能力を客観的に比較検討出来るようにした。



図1　VTR画面例

1．試合場面の撮影と編集

ハンドボール男子世界選手権大会の決勝場面を撮影した。撮影に際しては、世界ハンドボール連盟の撮影許可を得た。攻防場面のうち、シュートに至る15試技を、シュート直前（0.5秒～1秒前）で画面が消えるように編集した。

2．評価項目と評価基準

本研究では戦術的認知能力に着目し、5段階評価法を用いた。

1）各選手の位置認知・記述する能力の評価

表1　プレーヤーの位置認知に関する評価基準

評点	評価内容
5	プレーヤーの位置が正しく記入されている。
4	プレーヤーの位置がある程度正しく記入されている。
3	部分的であるがプレーヤーの位置を把握できている。
2	部分的な記述がある。
1	ほとんど記述されていない。

2）攻撃に適した空間を認知する能力の評価

表2　攻撃の空間認知に関する評価基準

評点	評価内容
5	ディフェンスの弱い空間を正しく認知している。
4	ディフェンスの弱い空間は認識できているが不十分。
3	攻撃方向（左・右）が合致している。
2	攻撃方向（左・右）が逆に記述されている。
1	ほとんど記述されていない。

3）攻撃の展開を先取りする能力の評価

表3　攻撃の展開予測に関する評価基準

評点	評価内容
5	展開を正しく推察し、攻撃のバリエーションも記述あり。
4	推察される展開を図示している。
3	推察される展開の1つを記述している。
2	その後の展開を記述しているが、誤っている。
1	ほとんど記述されていない。

3．記述用紙と記入方法

戦術的認知能力を評価するための3項目を記述できるよう、回答用紙にコート図を作図した。解答用紙への記入は、攻防場面を約7秒間見せ画面が消えた場面の攻撃者と防御者、ボールの位置を解答用紙に描かれたコート図に記入させた。そして、攻撃すべき空間を円で示し、画面消失後に起こりうる状況（シ

ュート場面まで）を先取りし、複数回答を記入するよう指示した。

図２は攻撃場面の回答例として示したものである。

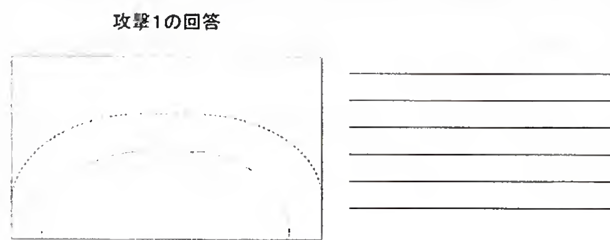


図２　解答用紙例

４．統計処理

競技レベルで分類した３グループの被験者の戦術に関わる評価点の平均値を、一元配置の分散分析により比較すると共に、評価点と競技年数に相関があるかを検証した。本研究での有意水準は５％とした。

Ⅲ　結果と考察

１．戦術的認知能力の評価について

競技力が最も高いと思われるＡグループ（X = 3.959 ± 0.382 Points）はＢグループ（X = 3.467 ± 0.477 Points）及びＣグループ（X = 3.441 ± 0.513 Points）に比べ有意（$p < 0.05$）に高値を示した。（図３）

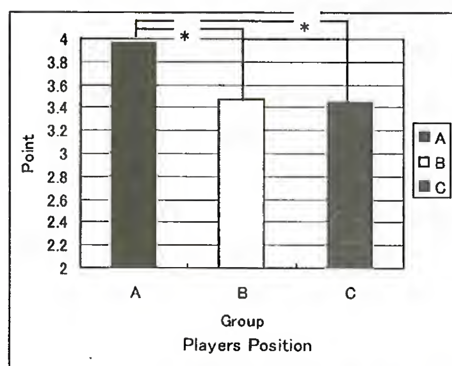


図３　グループ別戦術的認知能力の評価結果

２．攻撃に有利と思われる空間の認知能力の評価について

空間の認知能力の平均得点も戦術的認知能力の平均得点と同様、競技力が優秀なＡグループ（X = 3.981 ± 0.432 Points）はＢグループ（X = 3.334 ± 0.265 Points）及びＣグループ（X = 3.256 ± 0.487 Points）に比べ有意に高値を示した。（図４）

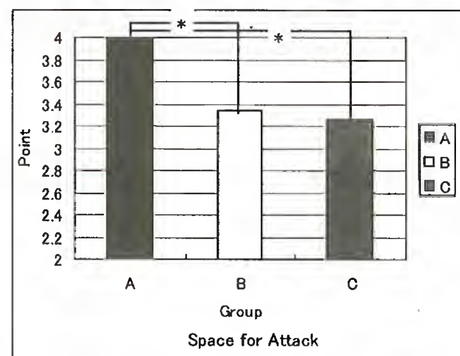


図４　グループ別空間認知能力の評価結果

３．攻撃の展開の先取り能力の評価について

Ａグループ（X = 3.937 ± 0.373 Points）は、Ｂグループ（X = 3.276 ± 0.219 Points）及びＣグループ（X = 3.228 ± 0.400 Points）に比べ有意に高値を示した。（図５）

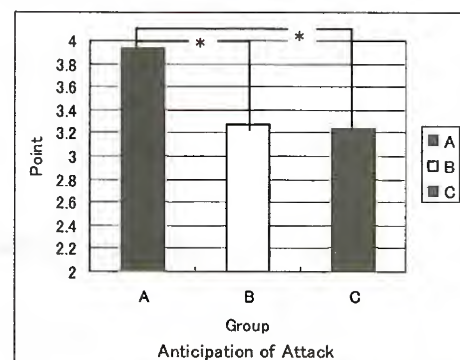


図５　グループ別攻撃先取り能力の評価結果　　＊… $p < 0.05$

Ⅳ　まとめ

ハンドボールの戦術的状況を認識する能力や攻防の展開を先取りする能力は、競技レベルの高いグループほど評価点が有意に高値を示した。

以上の分析観点は運動発揮能力を構成する要素であり、戦術能力を評価する項目として適切と思われる。また、本研究で実施した評価方法が、戦術的行動能力を評価する方法の一つとして有効である可能性を示した。

生涯スポーツにおける車椅子ハンドボール競技の現状と課題

日本車椅子ハンドボール連盟会長　小西 博喜

1．日本車椅子ハンドボール連盟発足と生涯スポーツとしてのハンドボールについて

障害者スポーツとは障害者のために考案されたスポーツだけを目指すものではなく、原則として健常者がおこなっているスポーツを

・障害があるためにできないことがある
・障害があるためにスポーツによる事故の心配がある
・障害を悪化させる恐れがある
・競技規則が複雑なために理解しにくい

などの理由でルールを一部変更して行っているものを指している。その意味で、障害者・健常者が生涯にわたって生き甲斐にしようとするねらいは、スポーツの原点でもある。

平成13年（2001年）には全国障害者スポーツ大会・第1回全国障害者スポーツ大会「翔く新世紀みやぎ国体」の公開競技に車椅子ハンドボールが採用されたことは誠に意義深く、平成15年（2003年）4月には日本車椅子ハンドボール連盟が発足した。また、同年12月第1回厚生労働大臣杯日本車椅子ハンドボール競技大会を姫路市で開催した。

この競技の特徴は、車椅子に乗って、外周50.24㎝の軟らかいボールを使い、障害者・健常者を問わず老若男女誰でも共に楽しめるスポーツであり、生涯スポーツとしての感動と参加意欲を高めていくことを目指している。また、（財）日本障害者スポーツ協会への加盟には20チーム以上の登録が必要なため、チームの普及が当面の課題である。

2．アジア・ヨーロッパ諸国における車椅子ハンドボール競技の状況について

現在、アジア地域で“車椅子ハンドボール”について実施している国は日本のみであるが、障害者・健常者を含めて老若男女が共に楽しめるという立場で生涯スポーツとして追求している状況である。ヨーロッパ地域ではチェコ・プラハのタボルスキイ会長が数カ国を集めて車椅子ハンドボールが楽しまれている程度である。すでにタボルスキイ会長からそのDVDとパンフレットの資料が送られてきた。こちらから日本車椅子ハンドボールのDVDと競技規則を全文英訳して送付した。会長から“日本の車椅子ハンドボール競技はすばらしい”という賛辞をいただいた。会長からアジア・ヨーロッパにおける普及対策を検討したい旨の情報も交換している。車椅子ハンドボール競技が国際的スポーツとして、パラリンピック種目の中に加えられることを念願し努力していきたいと考えている。

3．日本車椅子ハンドボールの動向について

今回、大会使用球ナガセケンコー（株）ニュースのインターネットで厚生労働大臣賞第5回日本車椅子ハンドボール競技大会（倉敷市）の試合結果が初めて掲載された（予選リーグ・決勝トーナメント・ゲーム写真など）。このことは本連盟の設立事業活動に副会長としてご活躍頂いた故岡本克彰先生の口ぐせでもあり、パラリンピックの仲間入りを実現させることが先生の強い願望であった。在りし日の先生をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げたい。次回は平成20年度第6回大会の実施要項（和歌山市）について、告知の準備中である。

ドクター・水素水 —— 特殊セラミックTスティック

簡易型水素発生「生」水器（水素発生ミネラルスティック）

豊富な水素が・・・・・・・水を変える！

フレンディアはJADMA（日本通信販売協会）の正会員です。

JADMA 社団法人日本通信販売協会会員

健康は毎日の飲料水から・・・



※本製品は改良のため予告なく仕様・デザインを変更する場合があります。



500mlのお水にドクター・水素水スティック１本を投入。
約120分後、水温21度における容存水素量0.48ppm。（当社測定値）

日本医学交流協会医療団
（ＮＰＯ認証 東京都）



当商品は認定を受けています。
http://www.drp.ne.jp/で認定確認できます。

特許公開番号：2004-41949
韓国特許登録：529006号
米国特許番号：7189330

原材料／金属マグネシウム、天然石
サイズ／18×122mm



価格／1箱3本入り　13,440円（税込み）



水の入ったペットボトルなどの容器に
スティックを入れるだけ。
2リットルの水道水にこれ１本！
しかも**6ヶ月と長持ち**です。
１日2リットル作ったとして、
たったの24円と経済的。

株式会社フレンディア

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-9-7 丸栄ビル6F
TEL：03-5728-3360　FAX：03-5728-3363
フリーダイヤル 0120-372-132（みんなに いーみず）

株式会社フレンディアのウェブサイトを併せてご覧ください。

http://www.friendear.co.jp

帯同 Dr. 参加所見
—北京オリンピック IHF 世界最終予選—
—ブカレスト／ルーマニア、2008 年 3 月 28 日～3 月 30 日—

熊本赤十字病院整形外科　佐久間 克彦

[帯同 Dr. としての総合所見]

1 月 29 日、東京・代々木体育館で行われましたアジア予選やり直し、更に、急遽試合国が変更となった世界最終予選（3 月 28 日～3 月 30 日ブカレスト（ルーマニア））に帯同させて頂きました。残念ながら北京オリンピックの出場が出来なくなりました事は、皆様ご存知のとおりです。

更に、4 月 4 日～6 日と東アジアクラブ選手権が熊本で開催され、その手伝いを当院の宮本和彦医師と行いました。

また北京オリンピック体制のベルト・バウワー監督のもと、コーチングとは何かを少し勉強でき自分なりに成長を感じています（いわゆる従来の日本の体育会系スタイルとは違うマネージメント）。今回の体制への参加は、2 年半前のサンクトペテルブルグ世界選手権の事前合宿（大阪）からでした。その後も継続して帯同できた事は、スタッフ間の連携においては大会都度に良好となり、お互いの役割分担がスムースに運び非常に信頼関係が密となっていました。それは取りも直さず、即ち選手との信頼関係が高まることを意味していました。

残念ながらこの体制も終わりました。次のロンドンオリンピックを目指す体制には、可能であれば長期参加できるドクターが帯同することが望まれます。これは、今回のスタッフ藤本コーチからの要望でもありました。仕事・家庭のやり繰りは大変だと思いますが！

至らない点ばかりでしたが､約 3 年大変お世話になりました。

1．MRI 検査

アジア選手権最終予選は、日本リーグの最中でしたので日本リーグでの疲労・外傷・障害を引きずって多くの選手が集合していました。1 月中旬でのオムロン合宿後、1 月 16 日熊本整形外科・坂口満先生受診にて MRI 検査が行われました。

1）左腓腹筋の付着部炎症

2）左膝蓋骨亜脱臼、骨挫傷

3）右膝タナ障害疑い

その後の NTC での事前合宿にて、倉田トレーナー（トータルヘルスコンディショニング）のケアにて、12 月の世界選手権と変わらない状態にまで復帰していました。

問題になったのは、A 選手が数年ぶりに全日本に復帰し、以前全日本選手時代には罹患していなかった喘息をこの数年で発症していた事でした。彼女は一度プレーヤーとしても引退していたので、今回のプレーヤー復帰時に喘息の TUE 申請を忘れていたそうです。そこで急遽試合の数日前、JISS 受診後申請を行ってもらいました。幸いにもドーピング検査に選ばれましたが、申請が間に合い事なきを得ました。その際、坂本先生には大変お世話になりました。有難うございました。

2．北京オリンピック IHF 最終予選

1）世界最終予選では、初めての要請がありました「選手の医師証明書」について

それは、“参加国は選手の医師の証明書を提出しなくてはならない。怠った場合は IHF が身体検査を行う。費用は参加国負担である。” という条文です。

この健康診断書の雛形はありませんでしたので、自作しました。しかし、提出期限も提出先も明記されず、スタッフ一同どのように対処していいのか分からず、最終予選地のルーマニアへ持参して通訳を介したり、テクニカルミーティグで尋ねたりしましたが、結局何処へも提出することなく持ち帰りました。

今考えると協会から IHF へ郵送していただくのがベストだったのではないかと考えます。

一応診断書の内容は 3 種類作成しました。様式は全選手健康には問題ないとう診断書です。しかし喘息で TUE（治療目的使用）申請をしている選手がおりましたので、個別に診断書を作成しました。様式Ⅰ（以下に表示）は何も申請してない選手用、様式Ⅱは喘息の TUE 申請している選手用、それから英字の選手名簿を作成しました。

<様式　Ⅰ>
24 Mar. 2008
International Handball Federation
Peter Merian-Strasse 23
CH-4002 Basle
Switzerland

Health Certificate

To whom it may concern,

This is to certify that the following person of the Japan National Handball Team is in good physical health.

Athlete name: **Ms.Abc XYZ**
Nationality: **Japanese**
D.O.B: **26thSeptember,2000**

Yours Sincerely.
Katsuhiko SAKUMA, M.D., Ph.D.
Japanese Red Cross Kumamoto Hospital

2）2008 北京オリンピック IHF 予選（2008 年３月 10 日～４月１日、NTC、オランダ、ルーマニア）

選手団は 25 名（役員７名、選手 18 名）でした。

選手団本隊は、３月 10 日～国立スポーツ科学センターでメディカルチェックを受けました。その際、３月 11 日　B 選手；JISS にて治療を行い TUE 申請、C 選手；右肩関節炎に対して関節内注射の A-TUE（略式治療目的使用）申請しました。

毎度の事ながら、倉田トレーナーのケア（針、マッサージテーブル、各種機器を持参）が行われましたが、選手によっては日本リーグでの傷が癒えて帰国した選手もおりました。

世界最終予選は、CAS の裁定が試合の約１週間前に下ったため、急遽フランスからルーマニアへ変更となりました。選手団は事前にベルト・バウワー監督の地元オランダでの事前合宿を行い、私は、25 日はアムステルダム泊（ミゾレ＆雪）、翌 26 日早朝の選手団移動時に合流となりました。ブカレスト直通便にて移動、当地は桜が満開で春の陽気でした。ホテルの見かけは四ツ星ホテルで立派でしたが、同じフロアーの半分は新築工事中でシンナーの臭いが鼻につく状態でした。又、ドアの建てつけが悪い部屋もあり修理を要したり、シャワーの水はけが悪く苦労したり、全部の部屋のセーフーティーボックスに電池が入っていなくて補充してもらったり、さらに毎日カードキーが昼過ぎに無効となるため更新するためにフロントに出かけたりという日々でした。ホテルの周りは治安が悪いということで、周囲の散歩もできずホテルに缶詰め状態でした。

選手のコンディショニングは、３月上旬に中国で行われた U-23 大会へ出場していた、D 選手、E 選手は約 40 日の遠征ということで精神的に疲れが出ていたようです。その他の選手は、概ね１月の試合より状態は良かったです。

28 日第一番目の試合の対ルーマニア戦の後半、F 選手がジャンプの着地時に受傷しました。そのまま戦線離脱、MRI 検査のため救急車で救急病院へ搬送しましたが検査できず、翌 29 日、別の病院で MRI 検査を行いました。結果は、複合靱帯損傷および半月板損傷でした。29 日の試合（勝利した対ポーランド戦は、私が観た全日本女子の試合ではベストの試合と思います）には、大使館員が応援に来られましたので松葉杖の借用が可能でした。30 日、帰国前夜、関節穿刺にて血性排液を認めました。その後、F 選手はスペインにて身辺整理を行い、４月７日帰国しました。４月８日、金沢大学北岡克彦先生（日本ハンドボール医科学委員）を受診し、４月 25 日に前十字靱帯再建術を受け、現在リハビリ中です。この際問題になったのは、遠征時傷害保険の加入は国内選手のみで海外の選手は加入していなかった事です。事が起こって初めて危惧された事に対して対策が講じられるようです。

3. ドーピングコントロール

ルーマニアでは３日間連日で試合があり、２日目に各チームから２人選出されました。選出方法は日本で行われているのと同じ、後半 20 分過ぎにカードの抽選で行われました。

私が経験した中では、日本が一番厳格なドーピング検査をしている印象です。今回の DCO も不慣れでしたので、IHF の役員の主導で行われていました。今回は最終日に表彰式とレセプションがあるということでしたので、日程的には中日に行われる可能性一番高いと考えていました。

4. 大会期間中の健康状態

以下のような状況にありました。

1.；左膝術後のケア等
2.；右膝痛に対して電気治療、テーピング。
3.；右骨盤打撲、テーピング、電気・針治療。
4.；右中指 PIP 関節脱臼、テーピング。左母指 MP 関節捻挫→電気治療、テーピング、鎮痛剤内服。右膝関節水症、帰国後主治医を受診予定。
5.；歯痛にて鎮痛剤内服。
6.；左肩テーピングと軟性装具着用。
7.；右示指 MP 関節、右腓腹筋筋挫傷テーピング。アレルギー性鼻炎に対してアレルギー薬内服。
8.；不眠症にて睡眠導入剤内服。右腹斜筋筋挫傷にてテーピング、電気治療。右膝複合靭帯損傷。
9.；アキレス腱周囲炎にてテーピング。針治療。
10.；右脛過労性脛部痛にてテーピング。
11.；右足底腱膜炎、右アキレス腱周囲炎にてテーピング。慢性腰痛にて電気治療等。寝違え。生理痛に対しての鎮痛剤の残薬提供。
12.；右肘内側側副靭帯損傷にてテーピング、電気治療。右肩。右母指テーピング。
13.；右肘内側側副靭帯損傷にてテーピング。右母指 MP 関節にテーピング
14.；右肩関節炎に対してデカドロン１Ａ +1％キシロカイン 10ml 注入、テーピング、電気治療等。右手関節捻挫テーピング。
15.；口内炎にてビタミン剤、胃薬内服。

5. 今後のメディカルケア一態勢への要望

全日本のチームはオリンピック、世界選手権を区切りとしてチームの根幹が構成されるため、２年から４年というスパンでのチームでは、継続した１名が理想ではあります。しかしながら、諸般の事情を勘案すると、２名の医師で構成した帯同ドクターチームを構成して情報交換を行い、全日本のケアをすることが必要であると思われる。継続することでスタッフの一員とみなされ、チーム内での役割分担が明確となり、選手との信頼関係が生まれてくるものと判断される。今後は NTC での合宿が主体となるため、以前よりはドクターも参加しやすい状況になると思われます。

メディカルチームとしては、選手と接することが多いトレーナーとの信頼関係を築くことは、非常に重要である。特に女子の場合はトレーナーから入る情報は大変貴重で重要である。

マッチバイザーの任務　平成20年度版

(財) 日本ハンドボール協会競技運営部

マッチバイザーの任務について、平成17年8月1日に競技規則改正が行われ、一部改正した。IHF（国際ハンドボール連盟）では、記録席に着席して各試合を管理する役員をテクニカル・デレゲート（TD）と呼んでいる。マッチバイザーは日本独自の用語である。IHFでは各試合、2名のTDを配置し、残りの4名は1名の医事委員（ドーピングコントロール役員）、3名の記録席員で構成している。1997年の熊本世界選手権では6名体制で実施されたが、2名のIHFのTDに加え、1名のマッチスーパーバイザーを配置した。マッチスーパーバイザーは日本では常務理事に相当する各委員会の委員長であった。日本国内も可能な限りIHFにあわせた競技運営をすることが必要であると考えられるが、現行のマッチバイザー制度はTDの職務もこなし、当面は現状のまま進める。

マッチバイザーは競技委員長のもと、競技役員として各試合に立ち会い、試合を円滑に運営するために、審判員、タイムキーパー 、スコアラー、その他の競技役員、補助員と協力して試合を管理する責任者である。

マッチバイザーの果たす役割

（1） 審判員、他の競技役員、補助員と協力し、円滑なゲーム管理を行う。
（2） 判定上の問題が生じたとき、適切な助言を行う。
（3） タイムキーパーの時計の管理、交代地域規定の管理をする。
（4） 公式記録用紙の照合を行う。
（5） 試合中止の判断は審判員にあるが、続行のために適切な助言を行う。

マッチバイザーに任命された委員は最新の競技規則書、競技規則書必携、大会開催マニュアル、笛、及びストップウオッチを持って試合に臨まなければならない。ほとんどの事項は競技規則書、競技規則必携、大会開催マニュアルに記されている。

以下に一般的なマッチバイザーの任務の流れを記した。原則としてすべての事項を把握しておく、あるいは行動するべきであるが、審判員、記録席員、その他の競技役員が対応することもできる事項がある。マッチバイザーに代わってできる事項は記録席員、あるいは、競技役員に対応させてもよい。これらの判断はマッチバイザーがする。

用語の使い方として、マッチバイザーが直接行動しなくても良い事項を「管理」すると表現した。ただし、それらの事項の最終責任はマッチバイザーにある。

1 「審判会議」

1－1 その大会のマッチバイザーに指名された役員は、特にその大会で強調される事項があることを鑑み、当該大会の審判会議に出席することが望ましい。

2 「代表者会議」

2－1 その大会のマッチバイザーに指名された役員は、当該大会の代表者会議に出席しなければならない。各種決定事項に対し、周知しておく。

3 「試合開始前」

3－1 試合開始前に会場、コート、ゴール、ボールの確認、交代地域のスペース、長さ、ベンチの数、記録席関係備品等の有無、放送設備、医務関係の準備状況を管理し、各種機器の動作具合の点検を管理する。また、その他全般的な事項を管理する。

3－2 競技規則に、GKのユニホームはすべて同色でなければならないとされた。ユニホームの点検の再確認し、管理する。

3－3 ピアス等はイヤリングや突起のない指輪と同類のものとして位置づけられ、他のプレーヤーに危害を及ぼさないようにテーピング等で覆わなければならない。また、膝等のサポーター等についても同様に扱う。マッチバイザーが助言をし管理する。

3－4 顔面マスクについてはIHFでその使用を禁止されたが、日本国内の試合では、GKの再度の眼部及びその付近の受傷保護の観点から申告制として、顔の表情が読み取れる透明のフェースマスクの使用を認める。使用の判断は競技委員長がするものとするが、その結果を受けてマッチバイザーが助言をし管理する。

3－5 屋内外で行われる競技会では、特に禁止されていない競技会では、指に松ヤニを付けてプレーしてよい。指以外の部位（靴等を含む）に松ヤニを貯めておくことを禁ずる。

3－6 トスは競技開始前に審判員が行うものであるが、問題が生じたときにはマッチバイザーが助言をすることもある。トスは、試合直前でなくてもよい。

3－7 第1試合開始30分前、第2試合以降は前の試合のハーフタイム開始直後にメンバー表が提出される。スコアラーは提出されたメンバー表をもとに、公式記録用紙に転記する。マッチバイザーは公式記録用紙に選手、チーム役員、その他の記入事項が正しく記入されたかを管理する。

3－8 公式記録用紙に転記された選手、チーム役員の記入が正しいものであるかを各チームのチーム役員が確認、署名する。マッチバイザーはチーム責任者が署名することを管理する。チーム役員は AからDの区分が記入されているかを確認する。

3－9 試合開始前に各チーム代表者が登録証を提出する。選手の確認は審判員が行うが、マッチバイザーはチーム役員の登録証を審判員と協力して管理する。チーム責任者はチーム責任者マークをつけていなければならない。マッチバイザーは審判員と協力して責任者がマークをつけているかを管理する。責任者マークをつけているチーム役員がいなければ、責任者として認められる行動はできないことをチームに伝えておかなければならない。

試合に参加するチーム役員にAからDの首から吊すカードを渡す。試合中は、チーム役員に常に着用させておかなければならない。カードAをチーム責任者とする。

3－10 国際試合の場合、通訳を置くことができる。通訳席はベンチの後方に置く。通訳をすることが主業務となる。

3－11 原則としてチーム役員は日本ハンドボール協会に登録されていなければならないが、トレーナーが派遣役員で氏名を特定できないことがある。その場合は、交代地域の外側に席を用意し、選手が負傷した場合その場所で応急手当をすることを認める。そのトレーナーは交代地域やコート内に立ち入ることはできない。マッチバイザーは応急手当の際の管理をする。

3－12 試合中、ボールを持ってのウォーミングアップは禁じられている。ベンチに座ってボールを持つことも許されないので、ボールが収納されていることを管理する。違反している場合には正さなければならない。

3－13 試合開始前に、交代地域規程に違反していないかを管理する。

3－14 試合開始前に、審判員、記録席員との打ち合わせを綿密にしておく。

3－15 交代地域規程に違反していれば、その違反が正されるまで試合を開始させてはならない。

3－16 試合開始の挨拶時、マッチバイザーを含めて記録席員は起立し、礼をする。

4「試合開始後」

4－1 試合開始の審判員の合図に合わせてタイムキーパーが時計を操作している状態を管理する。

4－2 試合途中の審判員の各種の合図を、記録席員が対応できるよう管理する。審判員が得点の合図をした時、確認の合図（手を高く上げる）をする。警告が出て審判員がその選手を示した時、選手の番号がわかった段階でイエローカードを高く上げ合図する。番号がわからなければイエローカードは用意するものの、高くあげなければ審判員がさらにどの選手かを示す。退場、失格、追放も上記の要領で対応する。

4－3 試合の経過を、マッチバイザー報告書、または、補助用紙（様式任意）に記録する。

4－4 試合開始後遅れてきた選手、チーム役員はタイムキーパー、スコアラー、マッチバイザーが承認することにより試合に出場、参加できる。承認されるためには、出場、参加資格があり、事前に提出されたメンバー表に記入された者でなければならない。

4－5 記録用紙に記載されていないプレーヤーや参加資格のないプレーヤーが競技に参加した場合、チーム責任者に段階罰を適用する。マッチバイザーが管理する。

4－6 試合途中の交代地域に違反がないかを管理する。違反があれば、次の中断の時にマッチバイザーが審判員に知らせる。

4－7 不正交代、不正入場その他交代地域の違反が確認されたとき笛を1回吹き審判員に知らせ、タイムキーパーが計時装置の時間を止める。この笛の合図はマッチバイザー、タイムキーパー、スコアラーも吹くことができる。記録席員は常に笛の合図にあわせて時計を止める習慣を身につけていなければならない。笛の合図があったにもかかわらず時計が止まらない場合は、直ちに時計を止めるようさらに大きな動作、行為をもって指示をする。時計を止めた状況を審判員に適切にアドバイスする。

今回の競技規則改正で不正交代と不正入場について、プレーヤーが交代ラインの範囲外のサイドラインを通ってコートから出ても、スポーツマンシップに反する行為や不正交代とみなさないと記された。プレーヤーが水分補給やタオル使用のためにベンチに戻った場合、退場となったときに潔くベンチに向かったが交代ラインを通らなかったとしても問題としない。混乱がないよう管理する。

4－8 試合途中に、得点、罰則の数を管理する。記録席員は得点した選手、罰則を受けた選手が誰であるかを特定しなければならない。審判員と記録席員の連携がとれるよう管理する。

4－9 チーム役員やプレーヤーは原則として自チームの交代地域に留まるものとする。しかし、チーム役員が交代地域を離れ別の場所へ移動したときは、チームを指揮し管理する権限を失い、その権限を再び得るためには交代地域に戻らなければならない。

4－10 試合中、いかなるものでも許可無く交代地域に出入りさせてはならない。

4－11 大会が認めた報道関係者（テレビ関係）は、チームタイムアウトの時間は交代地域の付近で報道活動することができる。コート内からベンチの活動を撮影することは許される。その他の時間帯の報道活動は、交代地域では許されない。

4－12 チームタイムアウトが実施された際、1分間の計時を管理をして、50秒経過時の笛の合図を管理する。審判員とスコアラーは得点、罰則の確認をする。マッチバイザーは審判員、あるいは、スコアラー、もしくは、両者とともに確認をする。

4－13 ひとつの例として、パッシブプレーの合図が出たときに、チームタイムアウトを請求するという手段をとることがある。ボール所持がどちらのチームであるかを確認しておき対応する。

4－14 試合時間の管理．決定は審判員の責務であるが、マッチバイザーの職務としてタイムキーパーの管理と指導の責務がある。公示時計で表示していても、不測の事態に備え別途に手元のストップウオッチで試合時間を計測しておかなければならない。

4－15 退場時間を管理する。

4－16 退場となった選手をベンチに座らせるよう管理する。

4－17 失格、追放となった選手を速やかに交代地域、競技場から退出させるよう管理する。競技場から退出させるとは競技に影響のない場所に移動させるということである。

4－18 失格、追放の選手はコート外周のレッドカード席に着席していなければならない。ドーピング検査の対象者となる。

4－19 試合中、コート内外を問わず各種紛争が起きた場合、審判員と協力して紛争を収拾するよう努力する。この行動、対処は速やかに、しかも迅速に行わなければならない。

4－20 試合中、何らかの状況で試合が中断した場合、マッチバイザーが直接放送設備を利用して会場に説明することが望ましい。状況によっては、会場のアナウンサーに説明させることもできる。

4－21 前半終了間際のプレイに注意を払う。特に、終了直前のシュートが得点となるかならないかの最終判断は審判員がするが、審判員から助言を求められることがあれば対応できるように細心の注意を払う。

4－22 前半終了、または、試合終了後でも、試合時間内の違反に対しては罰則を適用しなければならないので、審判員の判定に注意を払い、競技規則に合わない場合は助言勧告する。

4－23 前半終了間際、あるいは、試合終了間際になると、次に試合のチームがコート近くにきて各種の準備活動を始める。試合に影響がありそうなウォーミングアップ、ボールの使用は禁止するよう管理する。

4－24 いわゆる「最後の一投」を行う際、負傷したあるいは負傷を訴えたGK以外の防御側のプレーヤーの交代は許

されない。また、攻撃側の最後の一投をするプレーヤーは直ちにその位置に着かなければならない 。防御側プレーヤーの番号をメモすると混乱の原因を減らせる。

5「ハーフタイム」

5－1 レフェリーとともに審判控え室で競技全般に関する反省をする。レフェリーに対しての指導は審判委員会の責務であるが、必要があれば審判委員会と共同してレフェリングの流れに影響の少ない範囲で助言を与える。前半のレフェリングの流れを変えるような助言は極力慎む。

5－2 ハーフタイム開始時に審判員と記録席員、マッチバイザーが得点、罰則を確認する。

5－3 ハーフタイムの時間を管理する。マッチバイザー、記録席員が席を離れる場合、後半が正確な時間に始められるよう管理する。

5－4 各チームは交代地域を交代する。交代地域のチーム名表示をしている場合は正しく置き換えたかを管理する。

5－5 電光掲示板によるチーム表示は、基本的に前半後半で左右の表示を変えない。

5－6 ハーフタイム終了１分前に公示時計を止め、後半の試合時間を設定するよう管理する。

6「延長戦」

6－1 審判員がトスを行い休憩となる。時間を管理する。

6－2 交代地域の変更を管理する。

6－3 延長戦のハーフタイムは１分間である。休憩後に円滑に試合が始められるよう審判員と協力して対応する。

7「７mスローコンテスト」

7－1 交代地域の管理を重点的にする。ただし、試合に影響がないと判断される場合は、極力管理しすぎないように心がける。

7－2 IHFは５名で実施するが、日本は３名方式とする。２－０になった場合はそれ以降の７mスローは実施しない。日本リーグプレーオフは５人体制とする。

8「試合終了後」

8－1 公式記録用紙に記録された事項が正しく記録されていること確認をする。確認はマッチバイザーの記録と公式記録用紙を照合し、正しければ審判員に確認の署名をさせるよう管理する。

8－2 すべての事項が記入され、マッチバイザーが最終確認をした後、マッチバイザーが署名する。

8－3 記録用紙は１枚目（白）を主催者用として大会本部に提出する。２枚目（黄）を日本ハンドボール協会提出用として大会本部に提出する。３枚目（青）、４枚目（青）は各チームに１部ずつ配布する。記録用紙が速やかにチームに配布できるよう、大会本部に提出できるよう管理する。

8－4 マッチバイザー報告書の必要事項を記入し、競技委員長に提出する。特に、裁定委員会を開催する有無を各審判員、競技委員長に確認して記録する。

8－5 その試合で特記事項があればマッチバイザー報告書に記入する。

8－6 交代地域規程に違反する行為があった場合、あるいは、特別な出来事があった場合、マッチバイザーは速やかに失格・追放に関する報告書、兼裁定委員会開催要望書を作成し、競技委員長（裁定委員会）に提出しなければならい。

8－7 必要があればマッチバイザーは裁定委員会に出席し、審議に加わる。

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」6月入会・継続会員

【茨　城】武藤　康夫、遠藤　実由喜　【群　馬】高橋　萬知子、酒井　宏　【東　京】小笠原　泰代、田島　雅史　【神奈川】河野　卓也、木本　一成　【福　井】谷口　信二　【静　岡】細澤　覚　【愛　知】川合　晴己　【大　阪】本田　勝亮、下佐古　明彦、藤林　なおみ、山本　祐　【和歌山】西岡　枝祥、松本　芳樹、松本　朋子、松下　隆一、幸前　豊、小川　武、堀　栄一、東　登紀子、水口　幹夫、木下　豪人　【広　島】福井　恵二　【福　岡】日野　祐一郎、和佐野　健吾　【大　分】伊藤　道良

【8月の行事予定】

【大　会】

8月5日(火)～9日(土)（兵庫県・神戸市ほか）
西日本学生選手権大会

8月7日(木)～9日(土)（東京都）
東日本学生選手権大会

8月8日(金)～24日(日)（中国・北京）
北京オリンピック大会

8月8日(金)～10日(日)（新潟県・上越市）
第13回ジャパンオープントーナメント（女子）

8月9日(土)～12日(火)（富山県・富山市）
第13回ジャパンオープントーナメント（男子）

8月18日(月)～20日(水)（福井県・福井市）
第37回全国中学校大会

8月22日(金)～24日(日)（愛知県・豊田市）
第16回全日本マスターズ大会

8月23日(土)～24日(日)（北海道・釧路市）
第35回全国高等専門学校選手権大会

8月25日(月)～27日(水)（千葉県・千葉市）
第16回日韓中ジュニア交流大会

8月29日(金)～31日(日)（兵庫県・神戸市）
第10回全日本ビーチハンドボール選手権大会

HAND BALL CONTENTS Aug.

（登録チームの購読料は登録料に含む）

asics
sound mind, sound body

JAPAN、名品の系譜。

機能だけではない、風格のようなものがなければならぬ。
先端のテクノロジーでさらにパワーアップした機能を備えて
新しくなったスカイハンドJAPANシリーズ。
グリップ力に優れた国産ラバー採用のJAPANラバーソールと、
しなやかで通気性のあるエクセーヌを使ったカラーアッパーに
ソール前足部のベンチレーションホール等々。
インドアを制するミドルカットとローカットが揃った。

足入れ感を高めてクラシカルな名品復刻モデル。

スカイハンド® JAPAN-MT
THH514 ¥16,800(本体¥16,000)
● カラー：5093 ネイビーブルー×シルバー
● サイズ：23.0～29.0cm



名品スカイハンドSPのフォルムを受け継いだローカットモデル。

スカイハンド® JAPAN-S
THH515 ¥15,750(本体¥15,000)
● カラー：2300 レッド×パールホワイト
5093 ネイビーブルー×シルバー
● サイズ：23.0～29.0cm



JAPAN
JOC オフィシャルパートナー

株式会社アシックス

アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。 表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。( )内は消費税抜きの本体価格です。http://www.asics.co.jp 商品についてのお問い合わせは「アシックスお客様相談室」までどうぞ。03-3624-1814、06-6385-1155



世界の空へ、笑顔を乗せて。

(財)日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』　第四九二号

昭和四十年六月七日　[illegible]種郵便物認可

平成二十年七月二十六日印刷　平成二十年八月一日発行

東京都渋谷区神南一―一―一
電話　代表〇三―三四八一―二三六一
[illegible]〇〇一二〇―七―一〇二九三

編集兼発行人　川上憲太

定価　年間三三〇〇円